

躍進目覚ましい最も旬な俊英チェリスト!

# ニコラ・アルトシュテット

無伴奏チェロ・リサイタル

## PROGRAM

J.S. バッハ:

*J.S. Bach*

無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007

*Cello Suite No.1 in G Major BWV1007*

無伴奏チェロ組曲第2番 ニ短調 BWV1008

*Cello Suite No.2 in D Minor BWV1008*

無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調 BWV1009

*Cello Suite No.3 in C Major BWV1009*

無伴奏チェロ組曲第4番 変ホ長調 BWV1010

*Cello Suite No.4 in E flat Major BWV1010*

無伴奏チェロ組曲第5番 ハ短調 BWV1011

*Cello Suite No.5 in C Minor BWV1011*

N I C O L A S

2023.2/19(日) 14:00開演 13:15開場  
16:15終演予定

紀尾井ホール

2:00 p.m., Sunday, February 19, 2023 at Kioi Hall

¥7,000, ¥5,500 ※チケット料金には消費税が含まれております。 ※学生席および特別割引についての詳細は裏面をご覧ください。 ※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。

©Marco Borggreve

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 [www.japanarts.co.jp/](http://www.japanarts.co.jp/)

◎ チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) [Pコード:228-496] ◎ イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp) ◎ ローソンチケット [l-tike.com](http://l-tike.com) [Lコード:35073]

主催: ジャパン・アーツ

10/15(土) 前売開始

ジャパン・アーツぴあオンラインチケット10月8日(土)

## 鬼才が挑む超王道～ニコラ・アルトシュテット、 バッハ《無伴奏チェロ組曲》への期待

1982年生まれのニコラ・アルトシュテットは、今もっともスリリングなアーティストの一人だ。チェリストと紹介されるが指揮もする。音楽祭のプロデューサーでもあり、レパートリーもバロックから同時代ものまで幅広く、時にジャンルを超える。モダン楽器とピリオド楽器を自在に弾き分けるのも魅力的だ。結果、彼のチェロは一人のアーティストが奏でているとは信じられない多彩な音色とダイナミックな表現に満ち、どんな作品にも鮮やかな輪郭を与える。作品が生まれた時代の風を感じさせるのも、あらゆる時代の奏法に通じた彼ならではの、どんな時も変わらないのは、演奏の芯に潜む音楽へのアグレッシブな情熱だ。

これまで、ソロやオーケストラとの共演で日本の聴衆を魅了してきたアルトシュテットが、いよいよチェロ作品の王道中の王道であるバッハの《無伴奏チェロ組曲》を披露する。1本のチェロのありとあらゆる可能性を追求したバッハの《無伴奏》は、あらゆるチェリストの垂涎の的であり、試金石でもある。アルトシュテットもリサイタルではしばしば取り上げるが、全曲録音はまだ。名作であると同時にストイックな作品でもあるため、とりわけピリオド奏法だと淡泊になりがちだが、2018年にハイドン・フィルを率いて来日した際、聴き手をぐいぐい巻き込む思い切りのいいピリオド奏法で熱狂を呼び起こしたアルトシュテットのこと、新鮮な驚きに満ちた熱い演奏になることは間違いない。今回は全6曲の《無伴奏》のうち5曲が披露されるが、とりわけ調弦の異なる《第5番》では、アルトシュテットの大胆なアプローチが活かされそうだ。今もっとも旬なチェリストが魅せる、究極の名曲の新たな貌。これが話題でなくて、なんだろう。

音楽物書き 加藤浩子

N I C O L A S

Altstaedt

©Marco Borggreve

### ニコラ・アルトシュテット(チェロ) Nicolas Altstaedt, Cello

美しい音色と、楽々とこなす技巧性で知られるドイツ・フランス系のチェリスト、現在活躍中のチェリストの中でも、最もクリエイティブで、多才な一人である。ソリスト、弾き振り、そして室内楽でも世界的に定評があり、バロック音楽から現代曲までの幅広いレパートリーの演奏で聴衆を魅了している。これまでにブリュッセルのボザール、カーネギーホール、パーク・アベニュー・アーモリー、パリのシャンゼリゼ劇場、トロントのケルナー・ホールでリサイタル・デビューを果たしている。2017/18シーズンには、ヘルシンキ・フェスティバルでエサ＝ベッカ・サロネン作曲のチェロ協奏曲を作曲者の指揮の下フィンランド初演し賞賛され、アムステルダム・コンセルトヘボウで「アーティスト・イン・スポットライト」を務めた。2012年にギドン・クレーメルから後継者に選ばれ、ロッケンハウス室内楽音楽祭の芸術監督に就任。2014年にはアダム・フィッシャーの後継としてハイドン・フィルハーモニックの芸術監督にも就任し、ウィーン・コンツェルトハウス、エステルハジ・フェスティバルで定期的に演奏し、最近では中国・日本ツアーを行っている。また、新作の初演にも積極的に取り組み、トーマス・アデスやヨルグ・ヴァйтマン、ブライス・デスナー、ファジル・サイ、セバスティアン・ファーゲルンドなどの作曲家と演奏を行っている。2016年には、ピアニスト・コンポーザーであるハウシュカに映画監督のフェデリコ・フェリーニの台本にインスパイアされたチェロ協奏曲を委嘱し、同曲はロンドンとデュースブルクで初演された。ロッケンハウス・フェスティバルでの最近の室内楽の録音は、2020年のBBCミュージック・マガジンの室内楽賞、及び同年のグラモフォン賞を受賞した。ハイペリオンで録音したアルカンジェロとジョナサン・コーエン共演によるC.P.E. バッハの協奏曲集は、2017年のBBCミュージック・マガジンの協奏曲賞を受賞し、ワーナー・クラシックのファジル・サイ共演のリサイタルのコーディングは2017年のエジソン・クラシック賞を受賞している。

#### ＜2023年日本公演スケジュール＞

2月10日(金) 紀尾井ホール(紀尾井ホール室内管弦楽団との共演)  
2月11日(土・祝) 紀尾井ホール(紀尾井ホール室内管弦楽団との共演)  
[チケット取り扱い] <https://kioihall.jp/webticket>

2月21日(火) トッパンホール  
[チケット取り扱い] トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

#### ＜特別割引チケットのお知らせ＞(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

- ◎学生席(SY3,500 AY2,750): 社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証を提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額をいただきます。)
- ◎シニア割引: 65歳以上の方は、シニア料金(SY6,300 AY5,000)でお求めいただけます。
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

(次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めくださいませ)

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。